

- Eye-Fi カード固有の情報や、通信情報を確認することができます。

確認できる情報：
 接続先 SSID
 カードの MAC アドレス
 カードのファームウェアバージョン

「 カメラ設定」(P.27) → 「Eye-Fi 設定」 → 「通信情報」より確認してください。

ご注意!!

- 画像の転送中に、カメラの電源を OFF にすると転送が中断されます。再度電源を ON にすると転送が再開されます。
- Eye-Fi カードは、使用する国や地域で使用が認められているか確認してください。またその国や地域の法律に従ってお使いください。
- Eye-Fi 転送を「切」に設定していても、カードから電波が発信されることがあります。病院や航空機内など、電波の発信を禁止している所では、カメラからカードを取り出してください。
- 通信状況によって、画像の転送が遅くなったり、中断する場合があります。
- 画像の転送中に撮影をすると、通信・転送が中断される場合があります。撮影した画像のカードへの書き込みが完了すると、通信・転送が再開されます。
- 画像の転送ができない場合は、カードの使用説明書を参照し、カードやパソコンの設定を確認してください。
- Eye-Fi カードの通信・転送機能はカメラの電源で作動するので、電池の消耗が早くなります。
- 音声メモ (P.110) の付けられた画像は、画像データのみ転送され、音声データは転送されません。

インターバルタイマー撮影の最短間隔が短くなりました。(1.02 以降)

撮影間隔は 4 秒～60 分の間で設定できます。

設定方法は、使用説明書の「インターバルタイマー撮影」(P.59) をご覧ください。

- 画質と画像サイズの組み合わせにより、設定できる最短の撮影間隔が変わります。

		画像サイズ			
		S-HI	HIGH	LOW	S-LO
画 質	RAW+J	/	8 秒	4 秒	/
	RAW	/	8 秒	4 秒	/
	FINE	7 秒	7 秒	4 秒	4 秒
	NORM.	6 秒	6 秒	4 秒	4 秒
	BASIC	6 秒	6 秒	4 秒	4 秒

- 撮影間隔を短めに設定した場合、撮影画面に戻らないうちに次の撮影が始まる場合があります。

画像のアスペクト比 (横縦比) に「7:6」が追加されました。(1.02 以降)

6×7 版カメラとほぼ同じ横縦比での撮影が可能です。

設定方法は、使用説明書の「アスペクト比の設定」(P.71) をご覧ください。

画像サイズに「 S-LO」が追加されました。(1.02 以降)

設定方法は、使用説明書の「画像サイズの設定」(P.70) をご覧ください。

- 「 S-LO」は、画質の設定が JPEG (FINE、NORMAL、BASIC) の時のみ設定できます。
- 「 S-LO」時の各画質・アスペクト比の組み合わせによる記録画素数とおおよそのファイルサイズは以下ようになります。

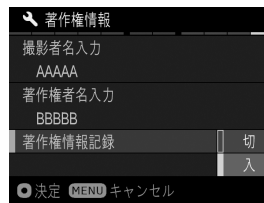
アスペクト比	記録画素数	画質		
		FINE	NORM.	BASIC
21:9	1.6M (1920×816)	1.1 MB	0.6 MB	0.5 MB
16:9	2.0M (1920×1080)	1.5 MB	0.8 MB	0.6 MB
3:2	2.5M (1920×1280)	1.8 MB	0.9 MB	0.7 MB
4:3	2.2M (1696×1280)	1.6 MB	0.8 MB	0.6 MB
7:6	2.0M (1584×1280)	1.5 MB	0.8 MB	0.6 MB
1:1	1.7M (1280×1280)	1.2 MB	0.6 MB	0.5 MB

著作権情報記録機能が追加されました。(1.02 以降)

撮影時に「撮影者」と「著作権者」の情報を画像の Exif 情報に記録することができます。

- 「撮影者」「著作権者」それぞれ半角英数字・記号で 48 文字まで入力できます。

1 「 カメラ設定」(P.27) → 「著作権情報」を選びます。



ご注意 !!

- カメラを貸したり譲渡する時などは、「著作権情報記録」を「切」にしてください。また「撮影者名入力」と「著作権者名入力」は空欄にしてください。
- 著作権情報記録によるトラブルや損害が生じた場合、当社では一切責任を負いません。

文字の入力方法

撮影者名入力および著作権者名入力画面



入力文字表示エリア
 入力文字表示エリアのカーソルは前後ダイヤルで移動できます。

キーボードエリア
 キーボードエリアのカーソルは<>> ボタンで移動できます。

1 キーボードエリアで入力したい文字を選び、OK ボタンを押して入力します。

A/a	キーボードをアルファベットに切り替えます。アルファベットの表示中は、押すごとに大文字/小文字を切り替えます。
#+=	キーボードを記号に切り替えます。
SPACE	1 文字分のスペースを挿入します。

2 一通り文字を入力したら、 FINISH を選び、OK ボタンを押して確定します (前の画面に戻ります)。

- MENU ボタンを押すと、入力した文字はキャンセルされ、前の画面に戻ります。

入力した文字を消したい場合

前後ダイヤルで名前エリアのカーソルを消したい文字の後ろ側に移動し、AEL ボタンを押します。



記録された著作権情報を確認するには...

- 画像情報 (P.94) の表示中に、<>> ボタンを押すと著作権情報表示に切り替わり、著作権情報 (撮影者 (PHOTOGRAPHER)・著作権者 (COPYRIGHT)) が確認できます。
- 記録された情報は、SIGMA Photo Pro の「撮影情報ウインドウ」や Exif 対応ソフトでも確認することができます。

フレーム半透過機能が追加されました。(1.02 以降)



3:2 以外のアスペクト比での撮影では、通常、フレームが黒く表示されますが、半透明表示することで、周囲の状況も確認できるスポーツファインダー的な使い方が可能になります。

「 カメラ設定」(P.27) → 「フレームの表示」より設定してください。

黒 (初期設定)	フレームが黒く表示されます。
半透明	フレームが半透明表示になります。

AF リミットモード (P.52) のピントの合う範囲が変更になりました。(1.02 以降)

以下の AF リミットモードのピントの合う範囲が変更になりました。

変更になった AF リミットモード	変更後の範囲
ポートレート	約 0.33m ~ ∞ (約 1.1ft ~ ∞)
風景・スナップ	約 0.5m ~ ∞ (約 1.6ft ~ ∞)